

コミュニティのチカラ

地域コミュニティの活動を紹介します

筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。

各コミュニティ運営協議会の令和3年度の主な取り組みについて紹介します。

二日市コミュニティ運営協議会



安全に安心して、思いやりと笑顔で暮らせる「愛・笑顔・活力のまち二日市」を目指し、コロナ禍での感染症対策を重視しつつ、防災・福祉・教育に対し「デキルシコ」実践を目指します。

二日市東コミュニティ運営協議会



地域住民がお互いに協力し合う地域社会の構築を目指し活動しています。今年度は、特に高齢者の見守り、地域包括ケアシステムなどの福祉に関する事業に力を入れ、取り組みます。

山口コミュニティ運営協議会



重点項目の「防災」「福祉」「教育」のうち、防災に重点をおき区民への防災意識向上を図りたいと思います。各区での防災・防犯に関する研修会を実施します。

御笠まちづくり協議会



「住みやすい 住みつづけたい 明るい御笠のまちづくり」をスローガンに、組織を10部会から「安全安心部会」「福祉交流部会」「子ども育成部会」「環境文化部会」の4部会に再編し、御笠のまちづくりに資する各種の事業を推進します。

山家コミュニティ運営協議会



昨年発足した山家地区防災ボランティア「よかよ〜」による災害時情報共有の強化と防災対策への意識の向上を図っていきます。また、地域包括ケアシステムについての研修を実施します。

筑紫よかまち協議会



筑紫コミュニティにおける長期的なまちづくり計画を基に、筑紫よかまち文化祭、コンサート、安西均献詩事業などの取り組みを実施します。「子どもたちに誇れる よかまちづくり」をスローガンに、コロナ禍の今できることを模索し取り組みます。

筑紫南コミュニティ運営協議会



コロナに負けず創意工夫をしながら、より一層充実した活動を進めます。特に「たすけ愛・みなみ」を中心とした高齢者の生活支援や災害に負けないまちづくり、子どもの体験活動を通じた人づくりを重点的に推進します。

各地域では、コロナ禍の今
できることに取り組んでいきます。